動物実験を開始するにあたって

『北里大学における動物実験等に関する規定』に則った手続きが必要です。

北里大学における動物実験等に関する規定はこちらから



北里大学における動物実験等に関する規定

1. 動物実験教育訓練講習会の受講が必要です。※必須【受講有効期間3年間】

受講予約窓口

遺伝子高次機能解析センター

TELL: 8879

MAIL: <u>lac@med.kitasato-u.ac.jp</u>

実験動物学 准教授 大久保 直先生

TELL : 9206

MAIL : <u>okubo@med.kitasato-u.ac.jp</u>

- A 遺伝子組換え動物使用・作成実験を行う方
- B 感染実験を行う方
- C ヒト材料を用いた動物実験を行う方
- D 麻薬類を用いた動物実験を行う方
- ※ A·B·C·D に該当されない方は 2.にお進みください。

A 遺伝子組換え実験計画書の審査を受け、承認番号を取得して下さい。

遺伝子組換え実験についてはこちらから



遺伝子組換え実験について

北里大学遺伝子組換え生物実験安全管理規定を必ずご覧下さい。遺伝子組換え実験に伴う各種申請書をご覧になり申請手続きの概要を参照に手続きを行い有資格者の認定、実験計画書の承認を得てください。 提出、お問い合わせは**研究支援センター事務室 小野様**にお願いします。

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : onoya@kitasato-u.ac.jp

B バイオセイフティ・病原体等利用者(BSL2・3)実験計画書の審査を受け、承認番号を取得して下さい。

バイオセイフティ・病原体等利用についてはこちらから



バイオセイフティ・病原体等利用について

北里大学バイオセイフティ管理規定と(微生物の利用手続きについて)を必ずご覧下さい。

医学部バイオセイフティ実験各種申請書をご覧になり病原体等利用届(BSL2)または、病原体等利用申請書(BSL3)を提出して下さい。

申請書記載に際し質問等のある方は以下までご連絡下さい。

寄生虫•熱帯医学 准教授 八田岳士先生

TELL: 9312

MAIL: htakeshi@med.kitasato-u.ac.jp

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : <u>onoya@kitasato-u.ac.jp</u>

C ヒト材料を用いる動物実験は倫理委員会の承認番号を取得して下さい。

ヒト材料を用いる動物実験は北里大学医学部・病院 倫理委員会に研究申請、承認を得て下さい。 提出、お問い合わせは、**研究支援センター事務室 小野様**にお願いします。

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : <u>onoya@kitasato-u.ac.jp</u>

D 麻薬類を用いる動物実験を行う際は麻薬研究者番号と許可書が必要です。

麻酔研究者免許についてはこちらから



麻薬研究者免許について

ケタミンを含む麻薬類を用いる動物実験を行う際は麻薬研究者免許を取得し麻薬及び向精神薬取締法に基づく厳重な保管・取扱い(麻薬保管庫設置・麻薬帳簿記録・年間使用報告などを行う事が求められます。)

麻薬研究者免許には相模原市の HP を参照して手続きをして下さい。

提出、お問い合わせは研究支援センター事務室 小野様にお願いします。

また、麻薬研究者免許を取得した場合も同係に報告が必要です。

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : onoya@kitasato-u.ac.jp

上記の手続き完了後、2にお進みください



2. 北里大学動物実験・実習計画書(書式第1号)を提出して下さい。

北里大学動物実験・実習計画書(書式第1号)はこちらから -



実験・実習計画書

実験室承認番号はこちらから



実験室承認番号

飼養保管施設承認番号はこちらから



飼養保管施設承認番号

※感染実験・遺伝子組換え実験では承認番号の記入が必要となります。

※ヒト材料を用いる実験は倫理委員会の承認番号の記入が必要となります。

※麻薬類を用いる実験は麻薬研究者番号と許可書を添付して下さい。

提出、お問い合わせは研究支援センター事務室 小野様にお願いします。

実験・実習計画書提出の際は、事故防止のため

【書面と電子メール両方】

の提出をお願いしております。

1. 作成した実験・実習計画書の書面 (押印済みの文書を提出)

2. 作成した実験・実習計画書のファイルを電子メールにて送付してください。

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : onoya@kitasato-u.ac.jp

上記の手続き終了の後、遺伝子高次機能解析センターを利用希望の方は



3.遺伝子高次機能解析センターの入室研修を受講して下さい。

入室初回、エリアを利用する際に入室研修(入室手順説明等)を行います。

※入室研修(約1時間)は、事前予約制です。

※遺伝子高次機能解析センター利用カードは申請を行わないと発行されません。

入室研修受講およびカード申請窓口

遺伝子高次機能解析センター

TELL: 8879

MAIL: <u>lac@med.kitasato-u.ac.jp</u>

※実験・実習計画書に記載の無い方の実験見学は原則として1回とさせていただいております。

よくあるご質問(FAQ)

FAQの一例としては、以下の通りです。

- ・今行っている実験に新しい実施者の追加をしたい。
- •今行っている実験内容の変更および追加をしたい。
- ・発生工学の依頼の手続きについて知りたい。
- ・飼育室の明暗周期(時間)について知りたい。
- ・飼育動物を他の飼育室へ移動したい。
- ・三種混合麻酔薬と拮抗薬を使用したい場合はどうしたらよいか。
- ・三種混合麻酔薬・拮抗薬の投与量を知りたい。
- ・吸入麻酔薬(イソフルラン)を使用したい場合はどうしたらよいか。
- •遺伝子高次機能解析センターで飼育している動物の飼育費支払い予算名目を変更したい。
- ・飼育にかかる費用について知りたい。
- ・センター利用者登録カードの紛失、破損、カードリーダーがエラー表示となった場合はどうしたらよいのか。
- ・見学者の一時入室を希望する。
- ・実験機器を飼育エリアへ搬入をしたい。
- ・実験機器機材を借りたい。(例:代謝ケージ、飼料(有料)、給水ビン)
- ・各エリアの実験装置を使用したい。
- ・動物発注に必要な提出書類を知りたい。
- ・新規に動物実験教育訓練講習会を受講したい。
- ・利用者カードの発行(入室研修の予約)をしてもらうにはどうしたらよいか。

Q. 今行っている実験に新しい実施者の追加をしたい。

A. 実験計画の変更がなく、実施者追加のみの場合は、動物実験実施者届に追加を記載した書面の提出とファイルを電子メールにて送付して下さい。



動物実験実施者届のダウンロードはこちらから



動物実験実施者届

提出、送信先は研究支援センター事務室・小野様宛へ

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL: 7756

MAIL: onoya@kitasato-u.ac.jp

注意点! *上記の計画変更申請書の変更内容は当該年度のみ有効です!!

*変更申請が承認されないと動物の発注等を受付できません。

Q. 今行っている実験内容の変更および追加をしたい。

A. 実験計画変更申請書に変更内容・追加を記載した書面の提出とファイルを電子メールにて送付して下さい。 (例:動物の購入先にオリエンタル酵母を追加する)



実験計画変更申請書はこちらから



動物実験計画変更申請

提出、送信先は研究支援センター事務室・小野様宛へ

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL: 7756

MAIL: onoya@kitasato-u.ac.jp

注意点! *上記の計画変更申請書の変更内容は当該年度のみ有効です!!

*変更申請が承認されないと動物の発注等を受付できません。

Q. <u>発生工学の依頼の手続き</u>について知りたい。

- A. (1)動物実験計画書(承認済)の写し
 - (2)遺伝子組換え実験計画書申請書(承認済)の写し
 - (3)発生工学依頼申込書(センター書式8号)

上記(1)(2)(3)を事前にセンターに持参し、担当者の確認を得てください。

担当者

遺伝子高次機能解析センター

佐藤

PHS 12507

発生工学の依頼申込書はこちらから



発生工学依頼申込書

- Q. 飼育室の明暗周期(時間)について知りたい。
- A. 照明時間:6:00~20:00 照明(明:14 時間・暗:10 時間)となっております。

Q. 飼育動物を他の飼育室へ移動したい。

- A. 希望日の前日までに動物の移動・飼育届(センター書式9号)を提出して下さい。
 - ・実験計画書に当該飼育エリアの記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。

動物の移動・飼育届はこちらから



動物の移動・飼育届

学外からの搬入、学外への搬出に伴う書類はこちらから =



遺伝子組み換え動物の搬入・搬出に伴う必要書

Q. 三種混合麻酔薬と拮抗薬を使用したい場合はどうしたらよいか。

- A. 当該年度承認済みの動物実験計画書に三種混合麻酔薬使用の記載があれば、遺伝子高次機能解析セーから検定済みの三種混合麻酔薬を提供しております【有料】。
 - *遮光コニカルチューブに入れてお渡しします。

(事前に調整済み麻酔薬等の<mark>検定</mark>を行いますので<mark>一週間前までに</mark>オーダーしていただきますようお願いします。) お支払いは、実験室消耗品記録に記載していただいた用紙および当センターにオーダーされたものを元に使用当該 月の振替請求にて請求させていただきます。

受け渡しは3FSPFエリア入口の隣にあります発生工学実験室でお渡しいたします。

【価格】

三種混合麻酔薬10ml¥ 1,324 (税込み)アンチセダン(拮抗薬)10ml¥ 407 (税込み)

担当

遺伝子高次機能解析センター 佐藤 PHS 12507



Q. 三種混合麻酔薬・拮抗薬の投与量を知りたい。

A. 投与量は、こちらを参照してください。

マウス、ラットの三種混合麻酔薬・拮抗薬投与量

(1) 三種混合麻酔薬内訳

(工) 二性成日州研究門(1)		
ドミトール	ミダゾラム	ベトルファール
0.75mg/kg	4mg/kg	5mg/kg

(2) アンチセダン(ドミトール拮抗薬)

2.25mg/kg *三種混合麻酔薬中のドミトールの3倍量に調整

投与量

動物種	(1)三種混合麻酔薬	(2) アンチセダン	投与経路
マウス(10gあたり)	0.1ml	0.1ml	皮下or腹腔内
ラット(100gあたり)	0.5ml	0.5ml	皮下or腹腔内

- Q. 吸入麻酔薬(イソフルラン)を使用したい場合はどうしたらよいか。
- A. 当該年度承認済みの動物実験計画書に吸入麻酔薬(イソフルラン)使用の記載が必要となりますので、記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。
 - ・吸入麻酔装置の麻酔箱は、<u>余剰ガスの暴露を防ぐため</u>3F SPF エリアは実験室内の局所排気装置の下で使用して下さい。
 - ・2F 流通エリア、1F 中大動物エリアでは、ラミナーフローラックの上で使用して下さい。



・麻酔薬は各自購入して頂き、使用量を麻酔装置へ補充して下さい。



価格 250ml 7150円(税込)

Q. 遺伝子高次機能解析センターで飼育している動物の飼育費支払い予算名目を変更したい。

(例:科研費 ⇒ 一般研究費)

- A. lac@med.kitasato-u.ac.jp 宛てにメールを送付して下さい。もしくは内線 8879 まで。
- Q. 飼育にかかる費用について知りたい。
- A. センター利用の手引き(P-50)を参照して下さい。

センター利用の手引きはこちらから



遺伝子高次機能解析センター利用の手引き

- Q. センター利用者登録カードの紛失、破損、カードリーダーがエラー表示となった場合はどうしたらよいのか。
- A. カードエラーとなった場合は、ご使用中のカードの確認が必要となりますのでカードをセンターへ持参してください。 (例:複数名で一緒に入室した際にカードリーダーに自分のカードをかざさずに入室してしまった。) 紛失、使用不可能となってしまった場合は、カードの再発行(3000円)申請をしていただく必要があります。 担当

遺伝子高次機能解析センター

阿部

TELL: センター居室 8879

- Q. 見学者の一時入室を希望する。
- A. 遺伝子高次機能解析センター登録者以外のエリア内一時入室許可願い(センター書式5号)を提出してください。 「見学等による一時入室の許可は一回のみ」

ただし、入室条件として、一週間以内に他の動物施設等に入室していないこと!!

一時入室許可願いはこちらから



一時入室許可願い

- Q. 実験機器を飼育エリアへ搬入をしたい。
- A. 一週間前までに実験機器の搬入許可願い(センター書式 10 号)と添付書類(資料・カタログ等)を提出してください。
 - ・機器がエリア内にあり共有できるものか、また搬入可能なものかについて確認し、ご連絡をさせていただきます。
 - ・実験計画書に当該機器の記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を 記載して提出して下さい。
 - ・搬入時の消毒はセンター職員の方で行います。

実験機器の搬入許可願いの書式はこちらから



実験機器搬入許可願い

- Q. 実験機器機材を借りたい。(例:代謝ケージ、飼料(有料)、給水ビン)
- A. 一週間前までに実験機材の借用願い(センター書式11号)を提出して下さい。
 - ・貸出し機器について実験計画書の記載が必要となります。記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。

実験機材の借用願いの書式はこちらから



実験機材の借用願い

Q ・各エリアの実験装置を使用したい。

- A. 事前に担当者へ問い合わせ下さい。
 - ・実験計画書に当該機器の記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は<u>実験計画書変更届</u>に変更内容を記載して提出して下さい。 ■

3F SPF エリア

(久保地 PHS:12505)



×線照射装置(小動物用

動物実験計画変更申請

1F中大動物エリア

(梶原 PHS:12506 ·高城 9359)



×線透視装置



軟×線撮影装置

*フィルム現像式

1F特別研究エリア

連絡先

実験動物学

大久保 直 先生

TELL:9206

MAIL: okubo@med.kitasato-u.ac.jp





マウス行動解析装置

- Q. 動物発注に必要な提出書類を知りたい。
- A. (1) <u>一般調達</u>は、A.「<u>動物発注・飼育申込書</u>」(センター書式1号)と B.「<u>ACOffice で作成した発注書</u>」 の<u>2枚セット</u>で提出して下さい。

AとBの内容が合致している事。

(1)一般調達

A			В			
道伝子高次機能が有センター書よ19 20 年 月 日 動物発注・飼育申込書 	T 11	第75-7:2号 1(183-004) 東京都計画区 933201 末クレア 株式会社 (0-939-7011 FAX 00-0 配の通り発注いたしま	発 Nái1-2-7 Ná-288 (-mil 新中 す。	注書	北里大学 報書:医学報書位:	(第11条数 のボロ 2024年6月1 2024年6月1 川県松橋原市南区北里一丁目19 千事工権経済計分ンター 図目音: 5 FAX Prod3/Stastto-v.4.6.jp
F究単位	1 2	発注金額総額 発注書内駅				I
験計画書 永認番号 <u>20</u> 直絡先 Tel <u> </u>		8 6	メーカー		関連カテゴリー 推当品(可・不可)	
E-mail @ 伊常県的		C5781 /8N/P 12	規格	護進金額(役込)	表 区 分	# 考 M7 遺伝子基次機能解析セ
is mail		CS7BL/6Nマウス	日本クレア	IDE	IO:- MINE	9-
・動物飼育エリア: 発生 SPF 特別研究 流道 (一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験	,		7w d*	2,937円 44,065円		2024/7/1 (SPFX-U7F)
中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ) 水棲動物				44,000)1	13866	(5971.77)
その他 ()	2					
動物入手希望日: 午 月 日・利用期間:(目)(週)(ヶ月)						
動物報: 系統: (□ 遺伝子和換え動物)	3					
動物数: オス						
- 規格:[年節]	١.					
[体표]g ~kg ~kg [plug+ / =0]						
・微生物学的星質: 無菌 ・ SPF ・ クリーン (ヘルシー) ・ 普通 (コンベンショナル)						
・生産器: 村北州酵母 ・ 日本ルフ ・ 東京実験動物 ・ 日本 SLC ・ 自家生産						
その他(
- 実験内容:						
・搬入後繁殖の有無 無 ・ 有()						
・飼育中の注意・特別飼料の指定 : 無 ・ 有 ()						
・動物死亡時の連絡: 必要 ・ 不要						
・死亡動物の処理 : 廃棄 ・ 冷蔵保存 ・ 冷液保存 ・ その他 ()						
・動物購入費および飼育管理費 支払区分に〇印 伝票グループ番号						
動物費: 医学部 ・ 医療系研究科 [内容コード:] ・ その他()						
(一般研究費 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:)						
(受給者名蓋 ・宛名:						
飼育費: 医学部 ・ 医療系研究科 [内容コード:] ・ その他()						
(一般研究費 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:)				 		
(受給者名義・宛名:)	L		681	44,055P		1
	re	内族木杉著情報)		1	1	(###)
※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に犯入のこと。		ランパス 800 福祉をキャンパ 第一 103 高学報	以大学本道事務室	1. 本注文書に記載	tの位展ゲループ: 番*	うきのず責社条件の禁事・終品書・請求
担当者 発性担当 教員係		**************************************	PRESERVED.			下記チェック側の指定された部署に納 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
発注担当記入欄 No	9	第 105A305A11:一般5 日外 105A305A11:一般5	PREED STREETS	Descript D	THE STUBBLE	
		(内線) 公司老子(((7))		- 1		

(1) 一般調達

A.「<u>動物発注・飼育申込書</u>」(センター書式1号)

新書式(センター書式1号)には、ACOffice の伝票グループ番号記載箇所がありますので、ご記入ください。

	造伝子高次機能解析センター書式1号 2024 年 6 月 1 日
Г	2024 4 0 7 1 1
L	記入例 動物発注 · 飼育申込書
	物実験・実習責任者 <u>山田 花子</u> 野 究単位 <u>遺伝子高次機能解析センター</u> 実験実施者 <u>山田 花子</u>
	元平位 <u>退居上向八城市時間でクター </u>
	88.79 call
	E-mail
• :	動物飼育エリア : 発生 SPF 特別研究 流通 (一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験 中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ) 水棲動物 その他 (
• j	動物入手希望日: <u>2024 年 7月1日</u> ・ 利用期間: <u>(日) (週) (ヶ月)</u>
• j	動物種:<u>マウス</u> 系統:<u>C57BL/6N</u> (口 遺伝子組換え動物)
	動物数: オス <u>15</u> 匹、 メス <u></u> 匹 計 <u>15</u> 匹
• 5	規格: [年齢]
	[体重]g 、kg ~kg【 plug+ / =0】
• 1	微生物学的品質: 無菌・(SPF)・ クリーン(ヘルシー)・ 普通(コンベンショナル)
• :	生産場: かび外酵母 ・ 日本外 ・ 東京実験動物 ・ 日本 SLC ・ 自家生産
	その他 ()
	実験内容: 職入後繁殖の有無 無 有 ()
	厨育中の注意・特別飼料の指定:無 有(
	動物死亡時の連絡: 必要・ 不要
+ 3	死亡動物の処理 : 廃棄 ・ 冷蔵保存 ・ 冷凍保存 ・ その他 (
• j	動物購入費および飼育管理費 支払区分に〇印 伝票グループ番号 記入
	動物費: 医学部・ 医療系研究科 [内容コード:]・ その他()
	(一般研究費 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:
	(受給 <mark>者</mark> 名義 ・ 宛名:
	飼育費: 医学部・ 医療系研究科 [内容コード:]・ その他()
	(一般研 <mark>学</mark> 典 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:) (受給者名義 ・ 宛名:))
*	科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。
	担 当 者 発注担当 教 員 係

「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)はこちらから



動物発注 · 飼育申込書

B.「ACOffice で作成した発注書」



(大学院生は、ACOffice を使用出来ないため共通事務室で代理発注を行いますので、動物確保の為、納入希望日の二週間前までに共通事務室の堀之内様へ依頼をするようにして下さい。)

連絡先:共通事務室 堀之内様

TEL:8893

MAIL:horino@kitasato-u.ac.jp

(2)<u>科研費</u>は、A「<u>動物発注・飼育申込書</u>」(センター書式1号)とB「<u>科学研究費 物件調達申請書 兼</u> <u>発注書</u>」(大学書式6号)の<u>二枚セット</u>で提出して下さい。

AとBの内容が合致している事。

(2)科研費

Α	В
遠伝子英次機能原析センター書式:号 20 年 月 日 動物発注・飼育申込書	(抗型大学期所) (括式 8号) <u>Land 20 年 月 日</u> 科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書
動物実験・実習責任者	申詠者 [/芍禄:] 研究
実験計画書 承認番号 20	(区分)(○で回む) 摘 要 数量 金額 備考
連絡先 Tel call	知品要・旅 費 謝金・その他 1式
 動物飼育エリア: 発生 SPP 特別研究 池道 (一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験 中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ) 水建動物 	物品典・旅 費 潮 金 ・その他
その他 ()	物品費・旅 費 謝 金 ・その他
- 動物人手希望日: <u>年 月 目</u> ・ 利用期間: <u>(月) (週) (ヶ月)</u> - 動物館: <u></u>	物品費・旅 費 謝 金・その他
- 動物数: オス匹、 メス匹 計匹 ・規称:[年節]	物品費・旅費・搬金・その他
[体重] g ~g 、kg ~kg [plug+ / =0] ・微生物学的品質: 無菌・SPF・クリーン (ヘルシー)・ 普通 (コンペンショナル)	物品費・旅 費 謝 金・その他
・生産場: ポワの酵母 ・ 日本ルフ ・ 東京実験動物 ・ 日本 SLC ・ 自家生産 その他 ()	物品素・ 旅 養 潮 金 ・その他 物品素・ 旅 養
・実験内容:	初記書・所 乗 謝 金・その他
・搬入後繁殖の有無 無・有() ・飼育中の注意・特別飼料の指定: 無・有()	ž†
- 動物死亡時の連絡: 必要 ・ 不要 ・死亡動物の処理 : 廃棄 ・ 冷蔵保存 ・ 冷波保存 ・ その他 ()	
- 動物購入費および飼育管理費 支払区分に〇印	発注年月日 20 年 月 日 研究者発注済(○印⇒)
	※添が書類については『公的研究費ハンドナック』参照のこと ⑥お吹に落着や・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
飼育費: 医学部 ・ 医療系研究科 [内容コード:] ・ その他 ((一般研究費 ・ 実育費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:)	□ 事務整を経由して納品して下さい。 □
(受給者名義・宛名:)	事務長 課長 係長 主任 担当 受付的
※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。	30.79

(2) 科研費

A「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)

動物購入費、飼育費の記載箇所に請求書宛名を記入して下さい。

	遺伝子高次機能解析センター書式1号
	2024年6月1日
記入例 動物祭注。	A
動物発注・	飼育申込書
動物実験・実習責任者 山田 花子 申)
研究単位 遺伝子高次機能解析センター	実験実施者山田 花子
実験計画書 承認番号 <u>2024-001</u>	10.10.20.20
重絡先 Tel call	携带電話
E-mail@	
・動物飼育エリア: 発生 (SPF) 特別研究 浙	流通(一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験
中・大動物(イヌ・ブタ・	ウサギ・モルモット・ラット・トリ)水棲動物
その他()
・動物入手希望日: 2024 年 7月1日 ・ 利用	
・動物種: <u>マウス</u> 系統:_	
・動物数: オス <u>15</u> 匹、メス	
	年齢 日齢 妊娠 日目
・ 微生物学的品質: 無菌・SPF・ クリーン (kg ~kg 【 plug+ / =0 】
・生産場: オリエンタル酵母・ド(本ケル) ・東京実験	
その他()
• 実験内容:	
・搬入後繁殖の有無 無 有()
・飼育中の注意・特別飼料の指定 無 有	()
・動物死亡時の連絡: 必要・ 不要	wn = 2.04 /
・死亡動物の処理 : 廃棄・ 冷蔵保存 ・ 冷	
・動物購入費および飼育管理費 支払区分に〇日	
動物費: 医学部 • 医療系研究科 [内容コー	-ド:] ・ その他() ・ 母研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:)
	・ サザサ・ 支託 ・ 助成 ・ その他:) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(文相有有義 - 元年八十一年)	1頁 基金明元(四)明元(数十 四四 化丁)
飼育費: 医学部 · 医療系研究科 [内容コー	-ド:]・その他()
(一般研究費 · 実習費 · 学生論文	・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他:)
(受給者名義 ・ 宛名:北里大学 科研	· 大学 基盤研究 (△) 研究代表者 山田 花子)
※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義	6を明確に記入のこと。
are No. Art Mr aire of 1888	担 当 者 発注担当 教 員 係
発注担当記入欄 No.	

(様式 6 5	孝)					(北里大学専用) №
記入例] 科	学研究費	物件調	達申請	20:	24年 7月 1日 : 書
申請者	花子	[内線:1379]		研究 種目	基盤研究(△))
区分)(0で	献)	摘	要	数量	金額	備考
物品費 ・ 加温 ・ かっぱん ・ ・	旅 費 その他	日本クレア C5 7 W 齢 オス	7BL/6N	15匹	44,055円	
物品費 ・ 類 金・・	旅 費 その他					
物品費・ 類 金・・	旅 費 その他					
物品費・加調 金・・	旅 費 その他					
物品費 ・ が	旅 費 その他					
物品費 ・ が						
物品費 ・ 類 金・・	旅 費 その他					
物品費 ・ が	旅 費 その他					
		it it		•	44,055 円	
発注年月日	20	年 月	日		研究者発注済(C)£D⇒)
□ 事 務	者様へ・ た部署に センター 室を経由	・・納品 納品して 本 を経由し して納品	で記入し	ますの	ない場合はセン)で、無記入で。	
事務長	課長	係長	主任	3	<u>世</u> 当	受付印

「科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書」はこちらから ➡

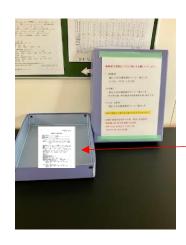


科研費申請書•発注書

(3) その他・私費等は、「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)

		遺伝子高次機能解析 2004 年 6	
		2024 年 6	月1日
記入例	動物発注・飼育	育申込書	
動物実験・実習責任者			
研究単位 <u>遺伝子</u> 語	<u>高次機能解析センター 田</u>	実験実施者 <u>山田 花子</u>	
	2024-001		
		滞電話	
E-mail	<u> </u>		
・動物飼育エリア:	発生 (SPF) 特別研究 流通(一般・P2・毒性・検疫室)	感染実験
	中・大動物(イヌ・ブタ・ウサキ		
	その他()	
	<u>2024 年 7月1日</u> ・ 利用期間		
	系統: <u>C571</u>		終え動物)
	<u>15</u> 匹、メス		
	7		
	無菌・(SPF)・ クリーン(ヘル)		*ル)
・ 生産場: 初む外酵が その他(母 ・ 日本小 ・ 東京実験動物	・ 日本 SLC ・ 目豕生産 \	
・実験内容:		,	
・搬入後繁殖の有無	無 有()
・飼育中の注意・特別	削飼料の指定: 無 有()
・動物死亡時の連絡:	\sim		
・死亡動物の処理 :	: 廃棄・ 冷蔵保存 ・ 冷凍保存	・ その他()
	『育管理費 支払区分に〇印		
	・ 医療系研究科 [内容コード:)
	も ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科	研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ そ	の他:私費)
(受給者名義	長・ 宛名:山田 花子)
氨变曲。 医类如	。 医传衣斑绞钩 [赤索+)*·-] . Zn/h /	`
	・ 医療系研究科 [内容コード: も ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科		・小仲・打典)
	₹ · 吳自舜 · 子工論义 · 14 張 • 宛名:山田 花子	MIA XEG MIKE C	v/ισ• πΔπ /
			,
(受給者名義		味と言ばなのと し	
(受給者名義	での支払の時は受給者名義を明 での支払の時は受給者名義を明		一数 昌 係]
(受給者名義 ※ 科研・受託・助成		確に記入のこと。 超 当 者 発注担当	教員係

上記(1)(2)(3)に該当する書類を動物搬入予定日の前週**月曜日 16:00** までに教員係または動物センターに提出して下さい。





就業時間内でのセンタ 一居室前のBOXへの 投函も可能です。

*実験計画書番号の誤植等、提出書類に不備がある場合は返却させて頂く事がございますので、ご留意ください。

Q. 新規に動物実験教育訓練講習会を受講したい。

A. 新規の受講につきましては、更新と異なり特定日を設けず対応となっております。 受講希望日時の調整を大久保先生と直接ご相談してください。

連絡先

実験動物学

大久保 直 先生

TELL:9206

MAIL:okubo@med.kitasato-u.ac.jp

Q. 利用者カードの発行(入室研修の予約)をしてもらうにはどうしたらよいか。

A. 利用者カードの発行は、届出制となります。



カードの発行条件は、

- 1. 動物実験教育訓練講習会を受講している事。
- 2. 当該年度の動物実験計画書(計画書番号 例 2024-001 等) に名前が記載され承認を受けている事。 (記載がない場合は、動物実験計画書変更届を提出し実施者の追加申請の承認が必要となります)

動物実験実施者届についてはこちらを参照してください 💳

実施者の追加申請

3. 利用者カード発行申込みをしている事。

入室研修の予約をして頂いてから、入室研修時にカードをお渡しします。



- 1. 入出研修は、事前予約制です、各エリアごとに必要となります。
- 2. 日程: 当該エリア担当者に確認後、ご連絡致します。(なるべく週の後半にお願い致します)

連絡先

遺伝子高次機能解析センター

TEL: センター居室 8879

MAIL: <u>lac@med.kitasato-u.ac.jp</u>